

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150380014		
法人名	医療法人 好古堂		
事業所名	グループホーム すむのさと		
所在地	佐賀県鳥栖市高田町206-1		
自己評価作成日	平成24年3月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成24年3月27日	外部評価確定日	平成24年6月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との関わりを大切にし、毎日を楽しく笑顔ですごしていただけるよう支援します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

市街地を少し離れた一部田園地帯である。近くには民家も点在しているが、広い道路と倉庫群に囲まれた広い敷地内には併設の老人保健施設があり、近隣に本部ともなる病院がある。病院併設のグループホームであり、利用者や家族にとって健康面では心強いホームである。又、ホームのある広い敷地の一角には菜園も用意されていて、お天気の良い暖かい日には、入居者が散歩がてらの「土いじり」等自由に行えるようにされている。又、介護面でも「理念」の他にも、毎月「法人の目標」や「グループホームの目標」を定め、惰性に流される事無く、スタッフの自覚が日々改められる工夫がされている。

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時、全員で唱和して意識付けしている。	朝礼時、全員で唱和して意識付けしている。	朝礼時、全員で唱和して意識付けしている。	理念「地域との関わりを大切に、毎日を楽しみ、スタッフ各人は「理念カード」を名札に挟み、いつでも目に付くようにし、朝礼や申し送り時には唱和して、普段の業務に活かせるよう工夫している。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的には出来ていないが、法人の行事を通じ交流を図っている。	日常的には出来ていないが、法人の行事を通じ交流を図っている。	日常的には出来ていないが、法人の行事を通じ交流を図っている。	地域の一員として区費の負担をし、「運営推進会議」に参加している区長を通じて「市報」を受け取り、入居者も利用されている。又、地域のボランティアも受け入れている。現在「ゴミ出し」とか「回覧板の受け取り」等日常的な交流も検討している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人内の行事を通じて地域へ貢献している。	法人内の行事を通じて地域へ貢献している。	法人内の行事を通じて地域へ貢献している。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を管理者よりスタッフに伝え改善を行っている。	運営推進会議での意見を管理者よりスタッフに伝え改善を行っている。	運営推進会議での意見を管理者よりスタッフに伝え改善を行っている。	「運営推進会議」は2ヶ月に1度開催され、記録もきちんとファイルされている。メンバーも地域包括支援センター職員、地域・家族代表、スタッフが参加されている。ホーム行事計画・結果報告、行政の指導等が議題になっている。家族の自由な意見の表出の出来る雰囲気も検討している。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月1回訪問し連絡、報告を行っている。	月2回訪問し連絡、報告を行っている。	月3回訪問し連絡、報告を行っている。	地域包括支援センターには「運営推進会議」の案内や議事録配布等で、広域連合介護保険課とは介護認定等の連絡や打ち合わせで協力関係を築けるように努めている。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。	身体拘束は行っていない。	身体拘束は行っていない。	「身体拘束」の入居者に与えるリスクをスタッフも研修等で十分に理解しており、過去から現在に至るまで「身体拘束」の実績はない。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待と思われる行為は見られない。	虐待と思われる行為は見られない。	虐待と思われる行為は見られない。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現状、出来ていない。	現状、出来ていない。	現状、出来ていない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に事務、フロアスタッフより説明を行い、疑問がある時は納得のいくよう説明を行っている。	入居時に事務、フロアスタッフより説明を行い、疑問がある時は納得のいくよう説明を行っている。	入居時に事務、フロアスタッフより説明を行い、疑問がある時は納得のいくよう説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で意見、要望を聞き、反映している。	運営推進会議で意見、要望を聞き、反映している。	運営推進会議で意見、要望を聞き、反映している。	「運営推進会議」には家族も参加されており、毎年7月(夏祭り)、12月(クリスマス会)には家族に案内をし、出席して頂き、意見や要望を聞いて運営に反映できるよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議、朝礼、個別で聞く機会を設けている。	フロア会議、朝礼、個別で聞く機会を設けている。	フロア会議、朝礼、個別で聞く機会を設けている。	月に1度のスタッフ会議、毎日の朝礼、申し送り、引継ぎ時にスタッフとの話し合いを行い、スタッフとのコミュニケーションがとれている。提案・意見があればその都度運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年3回の個別評価を行い無理のない就業形態を心掛けている。	年4回の個別評価を行い無理のない就業形態を心掛けている。	年5回の個別評価を行い無理のない就業形態を心掛けている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を実施している。参加回数等を記録し管理している。	法人内外の研修を実施している。参加回数等を記録し管理している。	法人内外の研修を実施している。参加回数等を記録し管理している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当ホーム内外の研修を通じて交流の機会を作ってサービス向上に努めている。	当ホーム内外の研修を通じて交流の機会を作ってサービス向上に努めている。	当ホーム内外の研修を通じて交流の機会を作ってサービス向上に努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々の会話等により不安等をくみ取っている。	日々の会話等により不安等をくみ取っている。	日々の会話等により不安等をくみ取っている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	季節の行事や、ケアプラン説明時等に傾聴している。	季節の行事や、ケアプラン説明時等に傾聴している。	季節の行事や、ケアプラン説明時等に傾聴している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	センター方式の用紙でアセスメントを作成し、優先順位を付けている。	センター方式の用紙でアセスメントを作成し、優先順位を付けている。	センター方式の用紙でアセスメントを作成し、優先順位を付けている。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者から学ぶことも多く、お互い寄り添うケアを実践している。	職員は利用者から学ぶことも多く、お互い寄り添うケアを実践している。	職員は利用者から学ぶことも多く、お互い寄り添うケアを実践している。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係を大切にし面会、行事等で意見交換を行っている。	家族との関係を大切にし面会、行事等で意見交換を行っている。	家族との関係を大切にし面会、行事等で意見交換を行っている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	鉄道職員だった方はOB会の方に来ていただき話をさせていただいている。	本人、家族の意向を尊重し、環境作りに努めている。	本人、家族の意向を尊重し、環境作りに努めている。	普段より地域の知り合いの方が面会に来られたり、居室に友達の写真が貼られていたりしている。スタッフはその方々に電話をしたり、手紙を書いて頂く様に勧めたりして、馴染みの関係が途切れないような支援に努めている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別、少数、全体で不快無く過ごせるよう対応に心掛けている。	個別、少数、全体で不快無く過ごせるよう対応に心掛けている。	個別、少数、全体で不快無く過ごせるよう対応に心掛けている。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談窓口を設け支援に努めている。	相談窓口を設け支援に努めている。	相談窓口を設け支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者のこれまでの生活を基に検討し支援している。	利用者のこれまでの生活を基に検討し支援している。	利用者のこれまでの生活を基に検討し支援している。	スタッフは入居者とゆっくり話の出来る時間を持つように工夫している。又、入居者それぞれの職歴・生活歴を把握して意向・希望の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、趣味を生かしたサービス提供に努めている。	生活歴、趣味を生かしたサービス提供に努めている。	生活歴、趣味を生かしたサービス提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	モニタリング、アセスメント記録を通じて現状把握に努めている。	モニタリング、アセスメント記録を通じて現状把握に努めている。	モニタリング、アセスメント記録を通じて現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意見を尊重し、反映したケアプラン作成を行っている。	本人、家族の意見を尊重し、反映したケアプラン作成を行っている。	本人、家族の意見を尊重し、反映したケアプラン作成を行っている。	各ユニットで介護計画担当者が、入居者・家族の意見を聞き、3ヶ月、6ヶ月に1回の介護計画の作成を行い、状態の変化などあればその都度、計画の変更がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録や連絡ノート申し送りの中で情報を共有し、介護計画を見直している。	記録や連絡ノート申し送りの中で情報を共有し、介護計画を見直している。	記録や連絡ノート申し送りの中で情報を共有し、介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に対応できるよう努め、必要に応じ介護計画に努めている。	要望に対応できるよう努め、必要に応じ介護計画に努めている。	要望に対応できるよう努め、必要に応じ介護計画に努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	法人内の資源を利用している。四季を感じられるような活動を取り入れている。	法人内の資源を利用している。四季を感じられるような活動を取り入れている。	法人内の資源を利用している。四季を感じられるような活動を取り入れている。	
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医が看護師と連携を密に取り、支援を行っている。	主治医が看護師と連携を密に取り、支援を行っている。	主治医が看護師と連携を密に取り、支援を行っている。	入居当初は従来のかかりつけ医に家族送迎で通院され、家族が無理な時はスタッフが支援している。ホームには開設以来併設病院より内科2週に1回、歯科は月に1回往診があり、家族の希望があれば併設病院に受診できる。眼科、皮膚科等についても適切に受診出来るように支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設する老健の看護師とも連携を密にとり支援を行っている。	併設する老健の看護師とも連携を密にとり支援を行っている。	併設する老健の看護師とも連携を密にとり支援を行っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師の連携が取れているので、いつでも相談できるような関係になっている。	主治医、看護師の連携が取れているので、いつでも相談できるような関係になっている。	主治医、看護師の連携が取れているので、いつでも相談できるような関係になっている。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者、家族の意思を尊重し、事業所での支援に取り組んでいる。	利用者、家族の意思を尊重し、事業所での支援に取り組んでいる。	利用者、家族の意思を尊重し、事業所での支援に取り組んでいる。	入居時に契約・重要事項説明で重度化、終末期に向けた方針を示し、入居者・家族とは充分話し合いをしている。緊急時には、改めて家族と相談し、併設病院の医師・看護師と共にチームで支援に取り組んでいる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し全スタッフが対応できるよう指導している。	マニュアルを作成し全スタッフが対応できるよう指導している。	マニュアルを作成し全スタッフが対応できるよう指導している。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を実施し、当法人並びに地域との連携が取れている。	年2回の避難訓練を実施し、当法人並びに地域との連携が取れている。	年2回の避難訓練を実施し、当法人並びに地域との連携が取れている。	毎年最低2回の火災避難訓練を実施し、消防署立会いによる消火・避難訓練には併設の保健施設のスタッフの協力も得ている。今後、災害時の広域避難場所への避難訓練も検討している。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、それを念頭に置いて支援している。	利用者の人格を尊重し、それを念頭に置いて支援している。	利用者の人格を尊重し、それを念頭に置いて支援している。	スタッフは研修等により入居者の人格の尊厳とプライバシーについて充分理解しており、特に日々の言葉かけや対応には丁寧な心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の生活観を伺いながら自己決定できるような環境づくりを行っている。	利用者の生活観を伺いながら自己決定できるような環境づくりを行っている。	利用者の生活観を伺いながら自己決定できるような環境づくりを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がその人らしく過ごせるようノーマライゼーションの考えをスタッフ間で統一している。	利用者がその人らしく過ごせるようノーマライゼーションの考えをスタッフ間で統一している。	利用者がその人らしく過ごせるようノーマライゼーションの考えをスタッフ間で統一している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の趣味や希望に沿って支援している。	利用者の趣味や希望に沿って支援している。	利用者の趣味や希望に沿って支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付け、食器洗いを一緒にに行い役割と感謝の念をお伝えしている。	片付け、食器洗いを一緒にに行い役割と感謝の念をお伝えしている。	片付け、食器洗いを一緒にに行い役割と感謝の念をお伝えしている。	日常生活で入居者が出来る事は役割を分担し、食事についても準備、配膳、後片付け、食器洗い等一緒に行っている。スタッフも同じテーブルで、共に食事を楽しめる様に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に応じた摂取しやすい形態で提供している。	利用者に応じた摂取しやすい形態で提供している。	利用者に応じた摂取しやすい形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ムセのある方や口臭の強い方にはケアプランに項目を作り実施している。	ムセのある方や口臭の強い方にはケアプランに項目を作り実施している。	ムセのある方や口臭の強い方にはケアプランに項目を作り実施している。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排せつパターンを把握し、失禁を最小限に抑えリハビリパンツを使用しなくて済むよう支援している。	排せつパターンを把握し、失禁を最小限に抑えリハビリパンツを使用しなくて済むよう支援している。	排せつパターンを把握し、失禁を最小限に抑えリハビリパンツを使用しなくて済むよう支援している。	排泄チェック表を用いて排泄パターンを把握し、声かけや誘導を行っている。又、夜間においても失敗が少なくなるように自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できるだけ緩下剤の使用は避け飲水や運動等で予防に取り組んでいる。	できるだけ緩下剤の使用は避け飲水や運動等で予防に取り組んでいる。	できるだけ緩下剤の使用は避け飲水や運動等で予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は設けず希望に沿って入浴の支援を行っている。	入浴日は設けず希望に沿って入浴の支援を行っている。	入浴日は設けず希望に沿って入浴の支援を行っている。	入居者の入浴日は特に設けず、希望に沿って入浴できるよう支援している。体調の思わしくない方については、清拭や足浴で対応し、個々に応じた入浴の支援に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活習慣を尊重している。日中に活動し、夜間良眠していただけるよう支援している。	利用者の生活習慣を尊重している。日中に活動し、夜間良眠していただけるよう支援している。	利用者の生活習慣を尊重している。日中に活動し、夜間良眠していただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬ファイルや連絡ノート、申し送り等で、全職員が確認できるようにしている。	薬ファイルや連絡ノート、申し送り等で、全職員が確認できるようにしている。	薬ファイルや連絡ノート、申し送り等で、全職員が確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴を把握し喜びある日々を過ごせるよう支援している。	利用者の生活歴を把握し喜びある日々を過ごせるよう支援している。	利用者の生活歴を把握し喜びある日々を過ごせるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コミュニケーションを図り戸外の活動を促している。	コミュニケーションを図り戸外の活動を促している。	コミュニケーションを図り戸外の活動を促している。	暖かく、お天気の良い日にはスタッフが一緒に近隣の保育所に何う事もある。又、敷地内の菜園に種まきや草取りに散歩がてら出かける事もある。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望者については所持していただいている。	希望者については所持していただいている。	希望者については所持していただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は電話を使っていた。携帯電話を持っている方は会話ができるよう支援している。	希望時は電話を使っていた。携帯電話を持っている方は会話ができるよう支援している。	希望時は電話を使っていた。携帯電話を持っている方は会話ができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に沿うぬり絵、はり絵を取り入れている照明も温もりのあるものを使用している。	四季に沿うぬり絵、はり絵を取り入れている照明も温もりのあるものを使用している。	四季に沿うぬり絵、はり絵を取り入れている照明も温もりのあるものを使用している。	3ユニットの各フロアー共に壁面には、季節を表わした貼り絵が装飾されており、畳みの部屋にはデイルームから見える位置に季節の物が飾ってある等、生活・行事に配慮されている。大きめの窓にはカーテンによる遮光がなされ、温・湿度も適切に管理されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間には利用者個人の空間がありまた、少人数で語り合う場も設けている。	共用空間には利用者個人の空間がありまた、少人数で語り合う場も設けている。	共用空間には利用者個人の空間がありまた、少人数で語り合う場も設けている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が居心地良く生活して頂けるよう危険物以外は自由になっている。	利用者が居心地良く生活して頂けるよう危険物以外は自由になっている。	利用者が居心地良く生活して頂けるよう危険物以外は自由になっている。	少し広めの居室に入居者の使い慣れた家具や調度品が配置されている。また、家族には、自宅で使い慣れた物をお持ち頂くように話をしている。壁面には家族の写真も飾られて、居心地良い工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活ができるよう支援工夫している。	自立した生活ができるよう支援工夫している。	自立した生活ができるよう支援工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果			↓ 該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
					2. 利用者の2/3くらいの
					3. 利用者の1/3くらいの
					4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	○	1. 毎日ある
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまにある
					4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)				1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
		○	○	○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果			↓ 該当するものに○印をつけてください
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	○	1. ほぼ全ての家族と
					2. 家族の2/3くらいと
					3. 家族の1/3くらいと
					4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	○	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまに
					4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている
					2. 少しずつ増えている
					3. あまり増えていない
					4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	○	1. ほぼ全ての職員が
					2. 職員の2/3くらいが
					3. 職員の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが
					4. ほとんどいない